

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY_{セロリ}

2005
No.55



新入生の皆さんへー訓示ー

研究内容紹介『虐待問題に対する保育者の現状と心理学の課題』
研究トピックス『インターネット関連企業の社会進出について』

健康増進時代、今、食に求められるもの

図書館長・教授 吉岡 慶子

科学技術の高度な発展は人々に豊かな生活をもたらしてきましたが、今日では、生活習慣病の増加、複雑で多忙な日常生活などによるストレスの増大などが人々の健康を脅かし、新たな生活上の諸問題を多く生み出しています。特に、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、高血圧症といったいわゆる生活習慣病は、生活習慣を改善することにより、予防が可能であることがわかってきました。

また、健康づくり運動「健康日本21」では、生活習慣病の一次予防、二次予防を目指すもので、栄養・食生活に起因するところは大きいと考えられます。現在、生活習慣病、特に糖尿病予防、介護対策に重点を置いた施策を展開しようとしています。これには管理栄養士、栄養士の活躍が大いに期待されるところです。平成十五年「健康増進法」の施行により、健康な生活習慣の重要性に対する関心と理解が深められ、生涯にわたって、自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならぬといわれています。これを実現するための、健康づくりは自ら取り組むものであり、本人が自覚するとともに、個人を取り巻く健

康づくりのための環境の整備が重要であると指摘されています。

食事は人間の健康維持のために欠くことのできない栄養源の供給であると同時に、生活文化の一現象でもあります。成長期の子供に対しては適切な食品や栄養素を摂取することによる順調な発育が望まれます。また、食事を通しての一家の団欒は家庭や社会における人間関係や情緒の安定に良い影響をもたらすものです。健康な毎日を過ごすための日常食、会食や来客へのもてなしの食事や行事食、高齢社会に対応した咀嚼・嚥下機能を考慮した介護食など食事の種類は多くあります。新・食事摂取基準に基づきその時々、各個人に応じたものを摂取することが重要であると考えられます。さらに、栄養剤、サプリメントや単一の食品成分の機能性だけを追い求めるのではなく、安全な食材で調理したおいしい食事を大切にしたいものです。一方、少子化社会対策基本法や十七年四月より創設の栄養教諭制度の背景には、現在の児童・生徒を取り巻く問題が多くあります。「食育」をとおして、正しい食事の在り方、望ましい食習慣、自ら

の健康管理ができるような食の指導であり、次世代を担う子供たちの健全育成、食を営む力を育て、支援することです。

小、中、高等学校の家庭科教員の中で、今までの指導を見直し、ミニマム・エッセンシャル・クッキング（最少限必要な調理）を、男女を問わず、各学年に指導し、生涯を通して、自分自身の食事作りや食事管理ができるように教育すべきとの声が高まってきています。

今日、健康の維持・増進のために、食生活・栄養の領域だけではなく、運動、休養・睡眠、飲酒、喫煙などの生活習慣全般に關して、健康づくりを支援することが時代の要請でもあります。

そこで、本学の栄養科学部、人間発達学部、流通科学部、短期大学部・食物栄養科、家政経済科、幼児保育科の各学部・学科に課せられた教育的使命はまことに重く、人々の生活に幸福をもたらすために、実に貴重なものと考えられます。

今、健康増進時代に求められるものは、食の自己管理であり、個々人の生活の中で、実践し、生きてこそ、真に実現可能なものになると思われれます。



中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2005
No.55

C O N T E N T S

リレーエッセイ 第18回
健康増進時代、今、食に求められるもの ①

新入生の皆さんへ -訓示- ③

大学院人間発達学研究科(修士課程)開設 ⑤

図書館における開館時間の延長、
休日開館等のサービス向上への取り組み ⑥

寄付講座
「流通科学総合講義－金融知力プログラム－」の開講 ⑦

中村学園大学附属あさひ幼稚園の移転 ⑧

研究内容紹介『虐待問題に対する保育者の現状と心理学の課題』..... ⑨

研究トピックス『インターネット関連企業の社会進出について』..... ⑩

平成16年度卒業生就職状況 ⑪

平成17年度入試結果 ⑫

イベント&ニュース ⑬
流通科学部完成・大学院流通科学研究科開設記念講演会／海外研修／卒業式／
入学式／外国人客員研究員の紹介／平成16年度総合GPA優秀者表彰／
平成16年度卒業学生表彰者／サークル紹介／研究助成・受託研究等採択状況／
表彰のお知らせ／教員の出版物／教職員の動き

【今月の表紙】 中村学園大学附属あさひ幼稚園 新園舎



中村学園大学は2003(平成15)年4月1日付で、財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているものと認められ、正会員として認定されました。

新入生の皆さんへ

— 訓示 —

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

学長 藤本 淳

新入生の皆さん。入学おめでとうございます。ご家族の皆様方におかれましても、今日の日をさぞかし万感の思いでお迎えになったことと、本学を代表しまして、心からお祝い申し上げます。

皆さんは、将来の目標を定め、見事に本学への入学を許可され、希望と期待を胸一杯に本学の門をくぐられたことと思います。入学は単なるスタートラインに立ったに過ぎません。「初心忘るべからず」の言葉通り、在学中は、今、皆さんが定めている目標に向かって一歩一歩前進を続けて下さい。万里の道も一歩からです。日々の精進、そして真摯な態度の継続こそ、目標への到達を可能とする

る唯一の方法です。

さて、中村学園は、昭和29年の福岡高等栄養学校の創設から数えて、昨年は、創立50周年を迎えた記念すべき年でありました。したがって、このようなおめでたい時期に本学に入学した皆さんは、次なる50年の学園の新たな伝統を創造していく一員となるわけですね。そのためには、皆さんは、まず学園祖中村ハル先生が掲げられた教育理念と教育への情熱を熟知することが肝要です。先生は、本学の設立に当たり、「人間教育を重んじる教育」、「心の現れとしての姿・形・態度を重んじる教育」、そして「学問を実学として日常生活に生かす教育」をモットーとされました。皆さんは、こ



の三つの教育の基本的理念のもとにこれから本学で教育を受けていくわけですので、どうか、中村ハル先生の自伝を熟読され、本学の建学の精神を体得してください。

皆さんは、これから、講義・演習・実



習などの授業を通じて教養教育、そして専門教育における知識と技術を習得していきます。そのため、授業を担当する先生方は、どうすれば教育目標を達成できるかを常日頃考えられ、定期的に皆さんからの授業に対する評価等も考慮に入れられながら授業方法の改善に努め、Student Oriented、すなわち学生に軸足を置いた授業を行っていかれます。したがって、皆さんもこのシステムに

参加していくわけですから、必ず十分な予習と復習を行い、疑問があれば、Office Hourという皆さんと教員との間に設けられた定期的な懇談の時間を利用して、自分で問題を解決しながら自己開発型学習の習慣を身に付けて下さい。また、在学中に一時的に精神的・肉体的な原因から授業が思ったようにはかどらないということは、誰しもにあることですが、

本学には指導主任制度をはじめ、プライバシー保持に万全を期した学生相談室などの学生支援体制が整備されています。ご家族に相談されることは勿論のことですが、必要があれば、どうか躊躇することなく、これらの施設を利用して下さい。

本学は、単に専門領域の知識や技術を授け、資格取得を目指した教育を行うだけでなく、心豊かな教養人を育成するという高い教育目標を掲げています。そのためには、できるだけ多くの人達との出会いを大切に、サークル活動やボランティア活動に

も積極的に参加し、心身を鍛え、知性を高め、感性を豊かにしてください。加えて、グローバル社会の中で、真の意味での日本人としての魂を持って世界の人々と共生できる国際感覚を養って下さい。

皆さん一人ひとりの言葉が真実であり、真理を探求し、学問への情熱を高め、友情を深めながら学園祖中村ハル先生のご遺訓「努力の上に花が咲く」を心に刻み、中村学園に個性豊かな、潤いのある花を咲かせて下さい。



大学院人間発達学研究所(修士課程)開設

大学院人間発達学研究所長・教授 青木 英実

中村学園大学大学院人間発達学研究所は、今年4月に開設された新しい大学院研究科(修士課程)です。本年度は、入学定員5名に対し12名の志願者があり、うち10名が合格し、第一期生として入学しました。本研究科の特色及び教育課程は次のとおりです。

人間発達学研究所 (修士課程)の特色

人間発達学研究所(修士課程)は、研究指導を中心にしながらも、大学院修士課程に対する社会的要請ならびに専門家養成に対する、教育、保育、福祉などの各分野からのニーズに応じて、子育て支援や学校、施設での幼児・児童の健全な発達を支援する、発達科学の専門家を養成することを目標としています。その教育課程は、基礎となる学部である本学「人間発達学部」の研究教育分野と連動させ、研究指導とともに、学校、地域社会などで発達支援の実践を行える専門職を養成することを基本方針として編成しています。人間発達学研究所は、従来の教育学、保育学、心理学の教育、研究アプローチを基盤としながら、特に幼児・児童の発達とその支援にかかわる諸問題を、学校・施設・家庭・地域などの領域において、実証的、科学的かつ実践的に分析し、問題解決する能力の育成をその基本課程としています。幼児、児童を中心とした人間の発達とその支援について幅広く理解しつつ、人間発達学についてより高度に専門的に学べるように、専門体系を次の二つの系統に分けて教育課程を編成しています。

(1) 発達科学系

発達科学系は、とくに幼児・児童の心身の発達について、より高度で専門的な研究を行う系統です。幼児・児童が発達する過程を心理学的、教育的、保育学的なアプローチで探究するとともに、それを踏まえた高度の保育技術、教育技術についても実践的な観点から研究します。

(2) 発達支援系

発達支援系は、幼児・児童の発達過程およびそれについての心理学的・教育的・保育学的な研究を基礎に、子どもを取り巻く新たな社会的課題にこたえて、幼児・児童および家庭への支援の理論と技術を研究する系統です。とくに家庭への「子育て支援」、虐待や、問題行動、障害児などに関して

科学的に分析し、カウンセリングやケースワークの技術などを実践科学的に研究します。また、幼児・児童への発達をよりよく支援するための環境としての、学校、施設などの組織運営や組織開発をマネージメントする理論と技法を研究するとともに、発達支援のための政策提言について政策的なアプローチで研究を行います。

平成17年度 教育課程

平成17年度の授業科目は、次のとおりです。

授業科目	単位数	
	必修	選択
発達科学系	教育心理学特論	2
	教育社会学特論	2
	教育制度論特論	2
	人間発達形成史特論	2
	保育課程特論	2
	保育表現演習	2
	教育課程特論	2
	教育技術演習	2
	身体運動発達特論	2
	運動教育演習	2
発達支援系	臨床心理学特論	2
	認知発達支援論	2
	言語発達支援論	2
	対人発達支援論	2
	家族発達支援論	2
	臨床精神医学	2
	教授学習支援論	2
	発達支援政策特論	2
	発達支援実習研究	2
	発達支援実習	2
共通	人間発達学特論	2
	発達心理学特論	2
	人間発達学特別研究	8
	情報数理解析論・実習	2
人間発達学研究方法論	2	
開講単位数計	12	44
	56	

【研究指導科目担当者】

人間発達学特別研究	教授	青木 英実
	教授	石田 梅男
	教授	井上 寛七
	教授	古賀 範雄
	教授	梶地 勝人
	教授	柳 治男
	教授	山田 達雄
	助教授	笠原 正洋
	助教授	田中 幸代

図書館における開館時間の延長、休日開館等のサービス向上への取り組み

図書館長 吉岡 慶子

大学図書館は、教育と研究を支援するだけでなく、学生への学習空間を提供するのも大きな役割です。快適な学習空間、学習基盤をさらに整備して、学生の学内滞在時間の長期化を図るためには、長く図書館が開館している必要があります。本学では、平成17年度より、人間発達学研究所（修士課程）が開設されます。栄養科学研究所（博士課程前期・後期課程）および流通科学研究所（修士課程）に引き続き、大学の全学部に大学院研究所が設置されることになりました。この機に、図書館では、利用者サービスの大幅拡大を目指し、抜本的な運営改革に取り組んでいます。

平成12年より、それまでの夕方18時30分までの開館を、20時へと延長しましたが、職場より、慌しく授業に駆けつける社会人の大学院生には21時10分まで授業があり、充分ではありませんでした。そこで、本学でも理事長、学長のご理解と、各事務部局の協力で、平成17年4月から夜間22時まで開館できるようになりました。更に、かねてから、在学生より要望がなされていた休日の開館を行うことで、各種の国家試験、教員・公務員採用試験や諸種認定試験等の受験を目

指す在学生への学習支援体制を充実するために、授業期・試験期における土・日曜日および祝日の休日開館を実施するようにしました。

このような観点から、

① 大学院設置に伴なう開館時間の延長および休日開館により、在学生の自学自習の環境を飛躍的に整えることとなりました。

② 本学図書館が大学図書館としての本来の機能を果たすため、特にフレックスサービス体制を強化し、教員の研究活動の活発化と在学生の図書館利用の活性化のために、更なる促進・拡大を図ることを目指しています。

一方、図書館も大学の役割と同じく教育と研究だけでなく地域への社会貢献を目指す必要があります。昨年秋より、福岡市総合図書館と市内大学図書館との相互協力など、利用者サービス拡大への諸課題に対する取り組みも着手しています。

今後とも、安全で快適な空間を提供できるように、電子情報化時代、国際化対応を含む更なる利用者サービスの視点からの図書館の運営改革を進めています。一度、図書館に足を運んでください。

開館時間

区 分	授 業 期 ・ 試 験 期	夏・冬・春季休業期間
平日 月～金曜日	9:00～22:00	9:00～17:00
第1・3・5土曜日	9:00～16:00	9:00～13:00
第2・4土曜日	10:00～16:00	-
日曜日・祝日		-

寄付講座 「流通科学総合講義—金融知力プログラム—」 の開講について

流通科学部 教授 古賀 公治

大学流通科学部では、平成16年度からカリキュラムの改正を実施しましたが、そのうち流通科学総合科目の一つとして、1年次前期に「流通科学総合講義（金融知力プログラム）」を開講しています。この講座は、日興コーディアル証券株式会社の寄付により開講されており、金融知力普及協会（NPO法人）のグランドステージプログラムに沿った講義となっております。

「金融知力」とは、「金融知識ではなく金融のことを読み解いて、自分に役立てる力」です。自分で考え、行動していかなくてはならない時代、ライフスタイル、ビジネスを有意義なものにしていくために不可欠な力です。

社会人・企業人として必須の能力となるであろう金融に対する知識・興味の醸成を教育目標とし、講義を終えた時点で、投資家としての投資判断を行うために必要となる金融商品の基礎知識や経済の仕組みを理解できるようになるレベル、また金融業を目指す者が予め知っておかなくてはならない知識を身に付けるレベルになることを目指しています。具体的には、株式・債券・投資信託などの金融商品の基礎知識、金利計算、ライフプランの作成、日々の経済活動の理解等を習得していきます。

講師は、金融知力普及協会（NPO法人）の講師研修に合格し、「金融知力普及講師」の認定を受けた、日興コーディアル証券株式会社福岡支店の社員の方々に務めていただいております。オムニバス形式で金融マーケットに直接携わる実務担当者の話も聞けるように授業が進められています。

なお、本講義を受講すれば「金融知力検定試験3級（金融知力普及協会認定資格）の受験資格が得られます。

本年度の授業内容は次のとおりです。

「流通科学総合講義（金融知力プログラム）」授業内容（予定）

- 1 金融知力の必要性
- 2 ライフプランニング・リタイアメントプランニング
- 3 金融消費者の知恵
- 4 暮らしに身近な経済知識
- 5 暮らしに役立つ経済知識
- 6 使わないお金の活かし方
- 7 金融商品を知る① ～預貯金・債券～
- 8 金融商品を知る② ～株式～
- 9 金融商品を知る③ ～投資信託～
- 10 金融商品を知る④ ～外貨建て・派生商品～
- 11 金融商品を知る⑤ ～保険商品～
- 12 賢いお金の殖やし方

中村学園大学付属あさひ幼稚園の移転について

中村学園大学付属あさひ幼稚園 園長 井上 寛七

新園舎概要

- 所在地
福岡市城南区
城西団地9番1号
- 敷地面積
2,298.13㎡
(695.2坪)
- 延床面積
1,622.39㎡
- 構造
鉄筋コンクリート造・
鉄骨造3階建
- 主要室
保育室×7室、
図書コーナー、
地域交流センター、
預り保育室、職員室、
ランチルーム、厨房、
遊戯室、研修室、
母の会室など

大学付属あさひ幼稚園は、昭和42年開園以来38年近く経っており、園舎の老朽化が進んでいました。このことに鑑み、園舎の移転・建替えを行うことになり、平成15年3月に大学キャンパスの北側に隣接する城西団地の一角に新園舎建設用地を取得、平成16年6月着工、平成17年2月完成となり、この4月から新園舎での保育を開始する運びとなりました。

新園舎は、モダンな外観に加え、最新の施設を備えた新しいタイプの幼稚園といえるでしょう。まず、「食の中村」にふさわしく、縦割りやクラス合同で給食を食べられる明るいランチルームがあります。厨房も全電化式となり、今まで以上に早くおいしい給食を提供できます。また、明るい採光の図書コーナーが設けられ、子どもたちが今まで以上に本に親しめるようになっていきます。さらに、地域交流室では、地域の高齢者や子育てサークルなどに開放し、地域に開かれ、地域に根差した幼稚園を目指しています。他にも母の会室、研修室など、保護者や教職員が話し合いや研修・交流に活用できるスペースが確保されています。



プロフィール

福岡教育大学中学校課程美術科卒業。教育学士。福岡県美術協会会員。九州芸術工科大学（現九州大学芸術工学部）、久留米信愛女学院短期大学教授を経て、中村学園大学短期大学部教授就任。現在、中村学園大学人間発達学学術研究科教授、本年4月から中村学園大学付属あさひ幼稚園園長就任。専門分野は、平面造形、立体造形、美術教育。



園舎外観



保育室



ランチルーム



図書コーナー

虐待問題に対する 保育者の現状と心理学の課題

大学 人間発達学部 助教授 笠原 正洋

児童虐待による子どもの被害の報道が後を絶ちません。この問題は保育園や幼稚園に勤務する保育者にも多くの問題を投げかけています。というのは児童相談所における児童虐待相談処理件数の約半数が小学校就学前の子どもという現実があり、園は今やそのような子どもや家族を発見、通告し、見守り支えていく場になっているからです。

園における児童虐待問題に関しては、これまで臨床心理学的アプローチが主流でした。これは虐待を受けた子どもへの心理療法や親へのカウンセリングなどに関係します。そのため、日々の保育において、子どもや保護者への対応上の問題に直面している保育者にとっては非常にニーズの高い研究領域だと考えられます。一方、この問題に対しては実証性を重視した心理学的アプローチもあります。この点に関する共同研究※の一端を紹介します。

児童虐待の防止等に関する法律(平成12年施行)では、平成16年10月の法改正に伴い、虐待の疑いの段階での通告が義務づけられるようになりました。これによって虐待の疑われる子どもが保護されやすくなると考えられます。しかし、園での対応を考えた場合、まだクリアしなければならない課題がたくさんあるように感じられます。

平成14、15年度に、私たちは、保育園にどれくらい被虐待児の子どもが在籍しているのか調査しました。対象は県内の3市にある保育園71園のクラス担任をしている保育者524名です。評価対象は7628名の子どもです。その結果、①専門機関が虐待の事実を把握していた子どもは0.24%、②園において保育者が被虐待を疑いながら未通告である子どもが0.49%いることがわかりました。しかし、③保育者が「被虐待」ではないと思

っているのですが被虐待のサインを示している子どもが0.66%いることが判明しました。つまり、保育者が「被虐待児」ではないと考えてしまえば「虐待」として認識されないままになってしまう危険性のある子どもがいるのです。被虐待児やその家族へのケアを園だけで行うには危険が伴います。専門的な治療や介入が必要な事例がありますので、園だけの対応になった場合、子どもにも家族にも、保育者にも過剰なストレスが生じることがあります。

現在、私たちはこの調査結果をふまえて、保育者の悩みや葛藤を個別面接調査や自由記述調査から収集し、①早期発見や通告を妨げる要因は何か、②子どもを早期に発見し通告するための指標として何を設けていけばよいのかを分析しているところです。

※これらの研究は、加藤和生助教授(九州大学大学院人間環境学研究院)を研究代表とする科学研究費補助金基盤研究B-2(「潜在的児童虐待被害」の実態解明とそれが心に及ぼす影響に関する理論的・実証的研究)と厚生労働科研(H16-子ども-030:保育園での児童虐待の早期発見・対策にかかわる諸問題の解明と対策システムの構築)によるものです。



■プロフィール

九州大学大学院教育学研究科
博士課程単位取得 教育学修士
専門分野/発達心理学、保育学
主な研究内容は、保育者による育児支援、育児相談に関する研究
日本発達心理学会、日本教育心理学会会員

インターネット関連企業の 社会進出について

大学 流通科学部 助教授 山田 敬一

昨年来、インターネット関連企業の社会進出の動きが活発化しています。ライブドアによるプロ野球球団の買収問題、ライブドアと楽天のコンペティションとその結果としての楽天ゴールデン・イーグルスの設立、ソフトバンク・ホークスの誕生といったプロ野球の世界にとどまらず、最近ではライブドアによるニッポン放送買収問題等々です。このような動きは、インターネットの社会への浸透が進行したことがその背景にあるものと考えられますが、マクロ的にみれば、社会の大きな転換点に差し掛かっていることを指摘することができます。しかし、一方でこのような動きに対して、決して賛成の声ばかりがあるわけではありません。それどころか、このような動きを快く思っていない者たちが「抵抗勢力」として彼らの前に大きく立ちをはかっていることも事実です。確かに、インターネット関連企業の社会進出に際して、彼らのやり方が決して既存の社会に受け容れられるような方法あるいは存在自体が認められるような状況に至っていないことも事実ですが。

ここでは、経営学とりわけ私の研究領域である組織論の立場からこれらの動きを考えて見ますと、3つの問題が浮かび上がってきます。

一番目の問題は、新制度化学派が主張する「正当性(legitimacy)」の問題です。組織論の分野では、状況適応理論以降、多様な学派が形成されてきましたが、新制度化学派もその有力な学派のひとつです。その主張は、組織は制度化された環境(これは、規則、規範、文化などにより形成されますが)に埋め込まれた存在となつてはじめてその環境において存在の正当性を認められることになるものとするものです。そのために、組織は、規則を遵守したり、規範に従ったり、他の組織と同調し模倣したりすることが求められることとなります。つまり、既存の社会のルールや慣習、文化に適合することが求められるわけです。このことからすると、インターネット関連企業の動き、とりわけライブドアのニッポン放送買収問題は、確かに規則は遵守していますが、規範や文化には反していると考えられるため、反発を買っていることも確かです。

二番目の問題は、一番目の問題とかがかかわりがありますが、イノベーションの普及過程の問題です。この問題に関しては、ロジャース(Rogers, E. M.)の研究が有効です。ロジャースは、イノベーションの採用者を、革新者(2.5%)、初期採用者(13.5%)、前期多数派(34%)、後期多数派(34%)、非採用者(16%)とする分類を行っていますが、インターネット関連企業の新しい動きについても、このことがいえるのではないのでしょうか。つまり、プロ野球問題については以前から改革の必要性がすでに提唱されており、ある程度機が熟していたため、多少の抵抗はあったものの比較的簡単にインターネット関連企業の球団所有が受け容れられたと考えられます。しかし、ライブドアのニッポン放送

買収問題では、敵対的買収というわが国の社会ではまだあまり先例のない新しい動きであったため、社会による受け入れがまだ機が熟していない状況であったものと考えられます(ただし、敵対的買収という行為が果たしてわが国社会に普及するかどうかは疑問ですが)。

三番目の問題は、やはり一番目の問題とかがかかわりがありますが、ベンチャー企業とプロフェッショナル企業の問題です。フラムホルツとランドル(Flamholtz & Randle)は、ベンチャー企業がプロフェッショナル企業へと発展するためには、マネジメントシステム(経営管理の仕組み)を作ることが必要であると主張していますが、これは規則と手続きをベースとした確実な管理運営方式—実はこれが官僚制組織に他ならないのですが—を構築し、信頼性と説明責任能力を確保することがプロフェッショナル企業に求められるということの意味しています。インターネット関連企業はその多くはベンチャーとして起業し、成長・発展してきていますが、その多くは未だに起業者のワンマン的な経営の色彩が強く、プロフェッショナル企業としての体裁を十分に整えているとはいえない状況です。

以上の3つの視点から、インターネット関連企業が今後さらに社会へ進出していくためには、つぎの2つの要件が必要であることがわかります。

まず第一番目に「機が熟していること」つまり、革新の必要性が制度的な環境に埋め込まれていること—規則にはならないとしても慣習や文化の面である程度の数の人によって必要と考えられていること—が必要であることです。そして第二番目に、その際インターネット関連企業の側にも信頼性や説明責任能力を有し、その存在の正当性を認められることが必要であることです。インターネット関連企業が社会進出を図るにあたって、この2つの要件を考慮したうえで、行動をすることが重要なのではないのでしょうか。

最後に、ライブドアのニッポン放送買収問題では、「会社は誰のものか」という重要問題を含んでいます。ライブドア側の主張には株主しか見えていません。企業の社会的責任というテーマでは、利害関係者集団(ステークホルダー)というキーワードがありますが、企業買収を行う際には株主のみならずこの利害関係者集団(株主も含まれます)に対する配慮が求められていることも忘れてはなりません。この点がライブドアの戦略には欠けているように思われます。



■プロフィール

早稲田大学法学部卒業、関東学院大学大学院経済学研究科経営学専攻 修士課程修了、同後期博士課程単位取得満期退学。修士(経済学)。2000年4月より中村学園大学流通科学部助教授

平成17年度 入試結果

※競争率は、受験者数/合格者（小数点第3位以下を四捨五入）

中村学園大学大学院

研究科・専攻	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期	推薦	6	10	10	7	1.43
		一般（1次）		2	2	2	1.00
		一般（2次）		1	1	1	1.00
		外国人留学生		0	0	0	-
	博士後期	前期	3	0	0	0	-
後期	4	4		3	1.33		
人間発達学研究科 人間発達学専攻	修士	推薦	5	2	2	2	1.00
		一般		2	2	1	2.00
		社会人		8	8	7	1.14
流通科学研究科 流通科学専攻	修士	推薦	10	9	9	4	2.25
		一般		5	5	5	1.00
		社会人		4	4	4	1.00
		外国人留学生		3	3	2	1.50

中村学園大学

学部・学科	課程	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	
栄養科学部 栄養科学科	-	推薦	公募制	65	183	182	74	2.46
			併設校	25以内	25	25	24	1.04
		一般	100	606	598	175	3.42	
		大学入試センター試験利用	10	241	241	21	11.48	
		外国人留学生	若干名	0	0	0	-	
人間発達学部 人間発達学科	幼児発達学専攻	推薦	公募制	36	121	121	46	2.63
			併設校	9以内	9	9	9	1.00
		一般	50	383	383	106	3.61	
		大学入試センター試験利用	5	205	205	20	10.25	
		外国人留学生	若干名	1	1	0	-	
		帰国子女	若干名	1	1	0	-	
	児童発達学専攻	推薦	公募制	15	51	51	16	3.19
			併設校	5以内	5	5	5	1.00
一般		27	501	498	101	4.93		
大学入試センター試験利用		3	156	156	11	14.18		
	外国人留学生	若干名	1	1	0	-		
流通科学部 流通科学科	-	推薦	公募制	15	23	23	19	1.21
			併設校	30以内	30	30	30	1.00
			指定校	50	64	64	64	1.00
		一般	75	583	578	271	2.13	
		大学入試センター試験利用(前期)	7	119	118	21	5.62	
		大学入試センター試験利用(後期)	3	24	24	11	2.18	
	外国人留学生	10	32	28	16	1.75		

中村学園大学短期大学部

学科	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	
食物栄養科	推薦	公募制	90	147	146	91	1.60
		併設校	15以内	15	15	14	1.07
	一般	45	287	287	93	3.09	
	社会人	若干名	11	11	6	1.83	
	外国人留学生	若干名	3	3	2	1.50	
家政経済科	推薦	公募制	10	11	11	10	1.10
		併設校	10以内	10	10	10	1.00
		指定校	105	136	136	136	1.00
		自己推薦	15以内	14	14	14	1.00
	一般	10	65	65	40	1.63	
	外国人留学生	若干名	0	0	0	-	
幼児保育科	推薦	公募制	110	226	226	125	1.81
		併設校	20以内	20	20	18	1.11
	一般	60	387	386	155	2.49	
	社会人	若干名	0	0	0	-	
	外国人留学生	若干名	0	0	0	-	

外国人客員研究員の紹介

本年4月から、本学と上海中医薬大学との学術交流協定に基づき、上海中医薬大学の朱根勝講師を本学薬膳科学研究所の外国人客員研究員としてお迎えいたしました。研究期間は来年3月までの1年間で、朱先生は薬膳科学研究所長の内山文昭教授の指導を受けながら、「薬膳の腸内菌・免疫力に関する影響」に関する研究をされています。



平成16年度総合GPA優秀表彰者

「中村ハル育英奨学基金規程」による、平成16年度総合GPA優秀表彰者が下記のとおり決定した。表彰者には、卒業式当日、表彰状と純金のメダルが手渡された。

- **大 学**
 - 【家政学部】食物栄養学科…………… 米丸江梨花
 - 【家政学部】児童学科(児童学専攻)…………… 中村 麻衣
 - 【流通科学部】流通科学科…………… 財津亜希子
- **短期大学部**
 - 食物栄養科…………… 河島 理紗
 - 家政経済科…………… 皆 春美
 - 幼児教育科…………… 沖 香菜子

※総合GPAとは…本学は、教育改革の一環として、学生の学業成績にGP(グレイド・ポイント)制を導入している。学生の成績は、優・良・可・不可として評価されるが、この評価を優(特優4点・優3点)・良2点・可1点・不可0点に点数化してGPとし、履修登録科目のGPにそれぞれの科目の単位数を乗じた値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除してGPA(グレイド・ポイント・アベレージ)を算出する。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できる。

平成16年度卒業学生 表彰者

各養成課程を優れた成績で卒業する学生を各種団体が表彰しているが、平成16年度は下記のとおり決定した。

- **全国栄養士養成施設協会会長表彰者**
 - 大 学【家政学部】食物栄養学科…………… 前田 真希
 - 短期大学部 食物栄養科…………… 関 由紀子
- **全国保育士養成協議会会長表彰者**
 - 大 学【家政学部】児童学科(児童学専攻)…………… 袋 真由美
 - 短期大学部 幼児教育科…………… 木村 祐花
- **日本フードスペシャリスト協会会長表彰者**
 - 大 学【家政学部】食物栄養学科…………… 永崎まち子
 - 短期大学部 食物栄養科…………… 永嶋 紀子

サークル紹介 和太鼓同好会

和太鼓同好会輝来響来座は今年で結成2年目を迎え、現在9名で楽しく活動しています。活動内容は、学園祭や地域の行事などへの出演と、それに向けての練習です。今年2月に行われた地下鉄七隈線開通記念行事では、雪中「ぶち合わせ太鼓」、「伝」という2曲を演奏しました。

このサークルを結成した理由は、大学の友人と一緒に地域の和太鼓団で活動しているうちに、大学でも活動し、もっと多くの方々に和太鼓を知ってもらいたいと考えようになったからです。また、私たちの演奏に輝きが生まれ、みなさんの元へ楽しく響くようにという願いをこめて「輝来響来座」と名付けました。ゼロからのスタートというのは大変でしたが、これからは部員皆で力を合わせ、名前にこめた思いを達成できるよう、そして多くの方々に私たちの演奏から何かを感じ取っていただけるよう、頑張っていきたいと思います。



(和太鼓同好会 部長 竹之内 美紀)

2/17

流通科学部完成・大学院流通科学研究科開設記念講演会

2月17日、大学流通科学部完成(平成16年3月第一期生卒業)と大学院流通科学研究科開設(平成16年4月開設)を記念した講演会が、福岡市中央区の西鉄グランドホテルにて開催された。講師として東京経済大学教授・副学長、財団法人流通経済研究所理事長の宮下正房氏をお招きし、「グローバル競争下の第2次流通革命」と題した講演が行われた。また、講演に引き続き、講師や参加された企業、官公庁の方々、本学教職員との懇親会も開催された。



2・3月 海外研修

2～3月にかけて、本学の海外研修が行われた。大学流通科学部及び短期大学部食物栄養科では、計21名の学生が、2月8日～2月27日までの20日間、ハワイ大学リーワード校での短期研修に参加した。また、短期大学部家政経済科では、2月12日～3月9日の約1ヶ月間、イギリスでの海外研修に36名が参加した。

この海外研修は毎年開催されており、現地大学等での特別プログラムが準備されている。生きた英語や異文化に触れることができるため、毎年多くの学生が参加している。

3/23 卒業式

3月23日、平成16年度の短期大学部卒業証書授与式が10時から、また、大学並びに大学院学位授与式が午前11時30分から、それぞれ本学体育館にて行われた。卒業生数は、大学院栄養科学研究科(博士前期課程)6名、大学家政学部食物栄養学科228名、児童学科170名、流通科学部220名、短期大学部食物栄養科167名、家政経済科217名、幼児教育科207名。



4/4・5 入学式

4月4日に平成17年度大学院入学式が中央本館大会議室にて、4月5日大学・短期大学部合同の入学式が、本学体育館にて行われた。入学生数は、大学院栄養科学研究科博士前期課程9名、同じく博士後期課程3名、人間発達学研究科10名、流通科学研究科13名、大学栄養科学部206名、人間発達学部181名、流通科学部244名、短期大学部食物栄養科159名、家政経済科184名、幼児保育科235名。



表彰のお知らせ

【社団法人全国保育士養成協議会表彰】

平成17年3月1日、宮田奈美子元教授(大学人間発達学部、本年3月末退職)が、社団法人全国保育士養成協議会会長より、表彰状が贈られた。この表彰は、永年にわたり保育士養成施設において教育に尽力し、多大な貢献をされた教員に対して贈られるものである。



宮田 奈美子 元教授

教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、()内は出版社、発行年月



エンターのためのバスケットボールドリル③
笠原 成元 総合監修
大学 流通科学部 教授
(ベースボールマガジン社)
平成17年2月



改訂版 イノベーション経営
古川 公成 編著
大学 流通科学部 教授
(財団法人放送大学教育振興会)
平成17年3月



スクール・オブ・ロック
中谷 安男 共著、共訳
短期大学部 家政経済科 助教授
(スクリーンプレイ)
平成16年10月

教職員の動き

採用人事(平成17年4月1日付)

- | | | | |
|------------------|--------|--------------------|--------|
| ・常勤助手(大学 栄養科学部) | 加藤 悠 | ・常勤講師(大学 流通科学部) | 朴 晟材 |
| ・常勤助手(大学 栄養科学部) | 中條 瞳 | ・常勤助手(短期大学部 食物栄養科) | 米丸 江梨花 |
| ・常勤助手(大学 栄養科学部) | 野本 菜実絵 | ・講師(短期大学部 幼児保育科) | 圓入 智仁 |
| ・教授(大学 人間発達学部) | 昇地 勝人 | ・就職課課員 | 伊野 直子 |
| ・教授(大学 人間発達学部) | 福田 伸光 | ・経理課課員 | 岡本 健人 |
| ・教授(大学 人間発達学部) | 柳 治男 | ・学生課課員 | 藤井 道代 |
| ・常勤助手(大学 人間発達学部) | 山中 寛子 | ・大学付属あさひ幼稚園 常勤講師 | 中村 麻衣 |
| ・教授(大学 流通科学部) | 藤田 昌也 | | |

平成17年度役職者(平成17年4月1日付)

- | | | | |
|----------------|-------|-----------------|--------|
| ・学長(大学・短期大学部) | 藤本 淳 | ・流通科学部長補佐(大学) | 笠原 成元 |
| ・大学学長補佐 | 石田 英夫 | ・短期大学部長 | 城田 知子 |
| ・大学院栄養科学研究科長 | 太田 英明 | ・食物栄養科主任(短期大学部) | 橋本 俊二郎 |
| ・大学院人間発達学研究科長 | 青木 英実 | ・家政経済科主任(短期大学部) | 酒見 康廣 |
| ・大学院流通科学研究科長 | 古賀 公治 | ・幼児保育科主任(短期大学部) | 森 康博 |
| ・栄養科学部長(大学) | 坂田 利家 | ・図書館長 | 吉岡 慶子 |
| ・栄養科学部長補佐(大学) | 山根 一文 | ・学生部長 | 吉浦 幾巳 |
| ・人間発達学部長(大学) | 島内 博行 | ・養護科学研究所長 | 内山 文昭 |
| ・人間発達学部長補佐(大学) | 井上 寛七 | ・大学付属あさひ幼稚園長 | 井上 寛七 |
| ・人間発達学部長補佐(大学) | 古根 正美 | ・大学付属あさひ幼稚園長 | 松尾 智則 |
| ・流通科学部長(大学) | 西岡 弘晃 | | |

昇格・昇任・配置転換等(平成17年4月1日付)

- | | | |
|-----------|---------------|---------------------|
| 【昇格・昇任人事】 | ・助教授(短期大学部) | 山崎 篤(短期大学部 講師) |
| | ・助手(短期大学部) | 皆元 裕美(短期大学部 副手) |
| | ・管財課 課長補佐 | 後根 明夫(管財課 係長) |
| | ・図書課 係長 | 今藤 寛(図書課 課員) |
| | ・就職課 係長 | 桑原 寛宏(就職課 課員) |
| 【併任講師人事】 | ・併任講師(短期大学部) | 吉田 宗宜(短期大学部 助手) |
| | ・併任講師(大学) | 吉松 遊佳(大学 助手) ※再任 |
| | ・併任講師(短期大学部) | 松隈 美紀(短期大学部 助手) ※再任 |
| 【配置換え人事】 | ・助手(大学) | 中園 栄里(短期大学部 助手) |
| | ・助手(大学) | 中島 憲子(短期大学部 助手) |
| | ・女子中学校・高等学校教諭 | 古川 敏雄(法人本部 学事主任推進役) |
| | ・管財課課員 | 板垣 里佳(学生課課員) |
| | ・教務課課員 | 加藤 由紀(就職課課員) |

退職人事(平成17年3月31日付)

- | | | | |
|----------|--------|--------------|--------|
| ・教授(大学) | 布上 董 | ・助手(大学) | 熊井 まどか |
| ・教授(大学) | 宮田 奈美子 | ・助手(大学) | 片桐 誓子 |
| ・教授(大学) | 三好 隆三 | ・常勤副手(大学) | 横田 摩利 |
| ・教授(大学) | 米山 毅一郎 | ・常勤副手(短期大学部) | 宮崎 智子 |
| ・助教授(大学) | 野村 秀一 | ・庶務課係長 | 立石 光代 |
| ・助手(大学) | 金丸 知代 | | |

研究助成・受託研究等採択状況

バナソニックコミュニケーションズ株式会社デバイスカンパニー
強アルカリイオン水による食材からのだし成分抽出に及ぼす影響

(研究者)吉岡 慶子 教授(大学 栄養科学部)
福地 乃理子 常勤副手(大学 栄養科学部)
交付金額/1,000,000円



吉岡 慶子 教授



福地 乃理子 常勤副手

アルカリイオン水とは、水にカルシウム剤を添加し、電気分解することにより得られるアルカリ性の水で、水酸化イオン、カルシウムイオン等の陽イオンおよび溶存水素などが多い水である。アルカリイオン水の食品の調理・加工への利用は、種々の食品について試みられている。平成15年度は、「炊飯操作が米飯の物性、組織構造に及ぼす影響と食味評価」について研究を行った。引き続き、本研究では、アルカリイオン水における浸漬が昆布に与える影響について、水道水で浸漬した昆布を対照とし、昆布の膨潤度、組織構造の変化、旨味成分の抽出効果、食味評価について調べ、乾物の浸漬による抽出効果について明らかにした。

財団法人伊藤記念財団

超高压処理食肉タンパク質ゲルの嚥下食への利用

(研究者)吉岡 慶子 教授(大学 栄養科学部)・福地 乃理子 常勤副手(大学 栄養科学部)
交付金額/1,500,000円

高齢者は加齢によってさまざまな身体機能が低下し、咀嚼・嚥下機能の低下もみられる。そこで、安全でおいしく食べられる食事、摂食・嚥下機能が低下した人でも経口摂取できる嚥下食の提供が求められている。本研究では食肉を用い、従来の加熱処理と高圧力利用の加圧処理によるゲルを調整して、食肉タンパク質のゲル形成能の違いを検討し、ゲルのソフト化を試みた。これらゲルの物性値、顕微鏡像での微細構造変化、高圧力が食肉に与える影響について調べ、食肉ゲルの官能検査、嚥下造影検査を行い、食味や嚥下状況を評価し、加圧食肉ゲルの嚥下食への利用について検討した。

日本農産工業株式会社

配合飼料による養殖ハマチにおける高品質化への影響

(研究者)吉岡 慶子 教授(大学 栄養科学部)・野村 秀一 元助教(大学 栄養科学部)
福地 乃理子 常勤副手(大学 栄養科学部)
交付金額/2,000,000円

食品のおいしさは味だけでなく色、風味、組織、物性などの多くの要因が複雑に関与している。魚肉の品質においては、鮮度が最も重要視され、魚の死後、魚肉組織中の酵素により嫌気的な分解反応が進行し、生化学的および物理的变化が起こるためである。本研究では、配合飼料の異なる養殖ハマチを試料とし、その肉質の鮮度および細菌検査から安全性を確認し、それらの肉色、肉質の旨味成分、脂質成分と脂肪酸組成、肉質の物性値、筋肉組織の構造および食味特性を評価し、ハマチの品質に及ぼす影響を検討した。これらの数値化により、魚肉の品質評価の指標として、養殖ハマチの高品質化に資する試みとした。

日本農産工業株式会社

卵の起泡性の相違がスポンジケーキの膨化とそれらの食味評価に及ぼす影響

(研究者)吉岡 慶子 教授(大学 栄養科学部)・福地 乃理子 常勤副手(大学 栄養科学部)
交付金額/500,000円

スポンジケーキの膨化は、生地中に混ぜ込まれた卵卵が包含する空気の熱膨張や水蒸気の蒸気圧によってスポンジの骨格が形成され、固定化して、ケーキの性状を左右する。本研究では、2種類の鶏卵を用い、スポンジケーキを共立法、卵立て法により調製し、スポンジの膨化度、物性測定、電子顕微鏡による気孔構造の観察および官能評価を行う。スポンジケーキの膨化率、テクスチャー値、ケーキの気孔構造変化が食味に及ぼす影響について検討した。

九州・シルクロード協会 シルクロード学術調査費
「西南シルクロード」と茶馬古道

(研究者)波平 元辰 教授(大学 栄養科学部)
交付金額/100,000円



波平 元辰 教授

今や忘れ去られてしまったもう一つのシルクロードがある。「西南シルクロード」である。インド洋→インド→ビルマ(現ミャンマー)→中国の雲南省→四川省→長安(現西安)を通して日本へ向かうルートである。雲南をルーツとする茶はこのルートを通してわが国に運ばれたのであろうか。現在でも馬で茶を運んだ道が残されており、それは「茶馬古道」と呼ばれている。雲南省は「西部大開発」のもと経済発展を目指しており、現代版シルクロードが立派なハイウェイとなって東南アジアへ向かって延びている。今年「茶馬古道」を訪ね、茶の伝播はじめわが国と共通する食品、食文化について考察してみたい。



入学式

— 広報誌セロリの定期購読について —

個人で定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を書いた紙片を同封の上、学長事務室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。

申込み先

〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 学長事務室 「広報誌定期購読申込」係